

生活困窮、困難者への緊急支援

とその支援ネットワーク構築事業

NPO法人 神戸の冬を支える会

1, 事業の目的、趣旨

収入も所持金のなくその日の食事にも事欠く状態であったり、ホームレス状態に追いやりられている方に対して、安心して暮らせる住居の確保と食事や生活必需品等の提供などの緊急的支援を行うとともに、そのような方を地域社会全体でサポートしていく支援体制を具体的な支援活動を通じて構築していくことをめざす。



2, 事業の方法

(1) 緊急支援の実施

- ・住居を失っていた方が住居確保し生活再建するにあたっての緊急支援

昨年・一昨年に引き続き、食料品、寝具、日用生活用品、衣類等の提供・貸付を実施。

- ・生活に困窮して生活費が無くなるなどしている方への緊急支援

食料品、日用生活用品、衣類等の提供または貸付

、そのような状況になった原因や背景などを理解し、各種支援制度利用へのつなぐ取り組みとフォローアップの実施

(2) 支援ネットワークの構築の取り組み

- ・支援の取り組みを通じて関わった各種団体やメンバーとは、取り組み内容について振り返りを行うなどして、問題の共有化を図った。個別の事例を通じてつながりを作り、地域の課題として、生活困窮の問題を考えて行ってもらう環境を作り、支援のネットワークを構築していくことをめざす。

3, 成果と今後の課題

活動を通じた地域の支援力の構築



住居を失った方の住居確保に合わせて寝具、日常生活用品・当面の食料品の提供はますますニーズが増えてきた。各種団体からの支援依頼も増加し、姫路市内の地域包括支援センターの研修会での活動報告の依頼があるなど、課題の共有化と連携の前進を実感している。

支援の実施を通して各種関係機関とのつながり強化も実現しており、支援を1回限りのものとせず、地域の「支援力」の強化向けた取り組みにつないでいきたい。